

宝同協定期総会

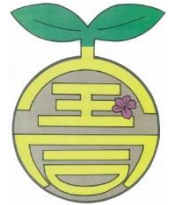
爽やかな季節が巡ってきました。みなさまお元気ですか。さて、宝塚市人権・同和教育協議会の定期総会が近づいてきました。

私たち「宝同協」が、昨年度の報告と新役員の選出、ならびに今年度の計画をたてる年一度の大切な会合です。各部の活動や、研究大会「人権交流学びのつどい」の開催なども検討します。

そして、しみずまゆこさんによるからくり布シアターと、人権啓発映画『見上げれば』の視聴で心を豊かにしましょう。

理事・代議員のみなさま、お忙しいと思いますが、理事・代議員である自覚のもと、ご出席をよろしく願いいたします。宝同協役員一同、心からお越しをお待ちしています。

日時： 2026年5月20日(水)13時30分 開会
場所： 宝塚市立文化施設 ソリオホール



(1)オープニングセレモニー

しみずまゆこさんによる からくり布シアター

しみずまゆこさんは、宝塚市在住の長年エプロンシアターを演じられている方です。阪神間の幼稚園や保育園、小学校、各種会合で音楽を取り入れた小さな人形劇を上演されています。いつも、みんなが楽しく笑顔になり、心豊かに自分らしく暮らせるきっかけになればと願って演じられています。今回の演題は「三枚のおふだ」です。

(2)来賓あいさつ

(3)2025年度の活動と決算報告

(4)新役員の選出

(5)2026年度の活動計画と予算審議

(6)映画 “見上げれば” (DVD・字幕副音声版 34分)

大学入学後にひきこもるようになった、主人公の由良陽人。陽人を案じる母・園子は、ひきこもり支援を行うNPO法人「のじぎく会」を訪れる。帰りがけにスタッフと思しき青年に声をかけられるが、それは陽人の中学の同級生・壺井樹だった。気ますくなり、すぐに立ち去る園子。このドラマは、できるだけ早い段階で適切な支援につながることの重要性、信頼できる他者とのつながりや、寄り添ってくれる人のいる「居場所」が回復のきっかけになることを伝えてくれるドラマとなっています。

“委任状 書く手を止めて 誘い合い”

宝同協役員一同